



市史へんさん



日の入りが早くなり、朝夕冷え込む季節になりました。10月は晴れの日が多く、過ごしやすかったのではないのでしょうか。11月は文化月間。行楽には最も良い季節。この調子で好天が続くといいですね。

11月は紅葉も見頃の時。北陸でも屈指の紅葉の名所となっているのが、『那谷寺』です。来年、開創1300年を迎え、市内では最も古い、長い歴史を持つ古刹です。その境内(奇石)は、おくのはそ道の風景地として、平成26年3月には国の名勝に指定されました。今回は、この『那谷寺』を特集してみました。



開創1300年 那谷寺



奇岩遊仙境（「小松市史 9 巻 寺社」より）

先月23日、シンポジウム「那谷寺の奇石を読み解く」が栗津演舞場を会場に開催されました。今年、石文化が日本遺産に認定されたことを受け、石の魅力に向き合う人の心を考古学から読み解くという話題性に富む講演や報告がありました。その中から、興味ある話題を拾い上げてみました。

そもそも那谷寺は、どういうコンセプトでつくられたのでしょうか。京都国立博物館の久保智康名誉館員が、地形・景観から以下のように結論付けました。

那谷寺が立地する地形は、谷が北に開き、南に入り込んでいます。奈良・平安時代の寺院の大方は中国の風水の影響を受け、北に山を背負い、南に谷を開くのが原則ですが、那谷寺は全く逆の方角に位置します。しかも、南に展開した先に巖窟が存在し、その岩の中に窟を掘って千手観音を祀ります。さらに、手前には池水を湛え、この景観は、正に観音浄土、補陀落山(ワダラクサン)を表現しています。『華嚴経』の經典では、補陀落山の周りには海(=池)があり、山の上には岩(=奇岩遊仙峡)があり、これは那谷寺の景観そのものです。但し、考古学的調査がまだであり、発掘での確認が待たれるところです。

補陀落山としてスタートした那谷寺はその後、白山信仰と結び付き、戦国期には戦禍を受け、荒廃しますが、利常の再建によって、風景地に生まれ変わります。芭蕉も訪れ、句を残すほどの風光明媚な地になったのです。ベースには信仰があるとはいえ、お参り良し、観賞良し、心の癒しの場であり、観光スポットでもあり、江戸期は正にディズニーランドのような地でした。

那谷寺の石についてワンポイント!!

◆弥生時代より碧玉(ヘキギョク)の産地で、那谷の地には、オパール、瑪瑙(メノウ)、水晶などが産出しており、那谷寺の観音堂には12個の瑪瑙を有していました。これを周防国(山口県)の大内義隆が所望したため、真宗本願寺の匠如が那谷寺へ依頼し、5個の瑪瑙を送り遣明船で明国へと献上したと文献に残っています。

◆奇岩遊仙境は、昔は海底噴火の跡であったと伝えられ、永い年月の間、風と波に洗われて、現在の奇岩が形成されました。



那谷寺大悲閣（「小松市史 10 巻 図説」より）

ふるさと小松検定

ふるさと小松の魅力をより知っていただくために実施される「ふるさと小松検定」は今年で12回目を迎えますが、今回から、初級、中級、上級に加え、メモリアルコースが新設されました。そのテーマは毎年替わりますが、今年は曳山 250 年にちなみ、「曳山子供歌舞伎編」です。そこで、へんさんだよりでも、『新修 小松市史 資料編 5 曳山』から問題を出してみたいと思います。チャレンジしてみましょう。

【問1】二重屋根を持つ曳山は龍助町と八日市町ですが、棟の高さは同じでしょうか、違うでしょうか？

- ① 龍助町の方が高い ② 八日市町の方が高い ③ どちらも同じ高さ

【問2】戦後初めて曳山子供歌舞伎を上演したのは京町ですが、その年代は？

- ① 昭和 21 年 ② 昭和 22 年 ③ 昭和 23 年

【問3】義太夫の語りと役者の台詞が書かれた本で、宮参りの際に役者と共にお祓いを受けるのは何という？

- ① 床本 ② 稽古本 ③ 台本

市史講座お知らせ

恒例の市史講座第2回目は、例年11月に開催しておりますが、今回は講師のご都合により3月に、石文化にちなんだ内容で開催します。

日時：3月11日(土) 午後2時より

講師：木越隆三金沢城調査研究所長

内容：金沢城から小松城へ～利常の城づくり構想～

<事務局 10 月の活動状況>

- ・ 10月1日(土) 考古部会
- ・ 10月6日(木) 教育関係調査(日末小学校)
- ・ 10月6日(木) 薬師如来堂(八幡)実測調査
- ・ 10月7日(金) 教育関係調査(今江小学校)
- ・ 10月7日(金) 教育関係調査(安宅小学校)
- ・ 10月9日(日) 憩いの森中村・米谷家実測調査
- ・ 10月10日(月) 古民家実測調査(白山田町)
- ・ 10月10日(月) 古民家実測調査(小山田町)
- ・ 10月12日(水) 町家実測調査(三日市町)
- ・ 10月13日(木) 教育関係調査(松東中学校)
- ・ 10月18日(火) 町家実測調査(大文字町)
- ・ 10月19日(水) 教育関係調査(南部中学校)
- ・ 10月26日(水) 建築棟札調査
(浜田・能美・北浅井・長谷・吉竹・園町)
- ・ 10月27日(木) 産業部会

<事務局 11 月の活動予定>

- ・ 11月1日(火) 教育部会
- ・ 11月1日(火) 町家実測調査(龍助町)
- ・ 11月8日(火) 石材資料調査(滝ヶ原町)
- ・ 11月9日(水) 教育関係調査(松陽中学校)
- ・ 11月10日(木) 教育関係調査(中海中学校)
- ・ 11月11日(金) 教育関係調査(国府中学校)
- ・ 11月22日(火) 町家実測調査(大文字町)
- ・ 11月29日(火) 町家実測調査(中町)

【ふるさと小松検定答え：問1 ②(P66)・問2 ②(P117)・問3 ①(P229)】

<11月のカレンダー>

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

は小松市史編纂事務局が閉室しています。

小松市史編纂事務局（小松市立図書館 2 階）

- ・ 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町 19 ・ TEL 0761(24)5315 ・ FAX 0761(22)9763
- ・ E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・ URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>